



展示室開室スケジュール

●令和5年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧いただけます。

3F	2月	3月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第5期 ～2月19日(月)～	3月1日(金)～ 令和6年度 第1期 ～5月6日(月・祝)～
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第4期 ～2月5日(月)～	2月16日(金)～ 第5期 ～4月15日(月)～
特別展示室 企画展	福をよぶ 城博コレクション ～わきたつめでたきもの～ ～3月4日(月)～	政社の時代 ～民権と反民権～ 3月15日(金)～5月20日(月)～



●行事スケジュール

	3月2日(土)	3月3日(日)
9時		9:00～ 土佐和太鼓文化研究所「一響館」龍ステージ 9:30～ 高知丸の内高等学校音楽科ステージ
10時	10:00～ みんなで博物館探検!★	10:00～ 高知大学合唱団ステージ 10:30～ 企画展スライドレクチャー 10:30～ みんなで博物館探検!★
11時	11:00～ 展示解説 11:00～ 山内家墓所案内★ 11:30～ バックヤードツアー＆修復体験★	11:00～ 崎本絵里菜ミュージアムコンサート 11:30～ 展示解説
12時		
13時	13:00～ 明徳義塾中学高等学校 和太鼓部ステージ 13:30～ 記念講座★	13:00～ 崎本絵里菜ミュージアムコンサート 13:30～ みんなで博物館探検!★ 13:30～ 土佐の神楽実演披露
14時	14:00～ 展示解説 14:30～ バックヤードツアー＆修復体験★	14:30～ 山内家墓所案内★
15時		15:00～ 展示解説
10時～16時	歴史資料の保存＆取扱い体験コーナー	

●各行事の詳細は、ホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

各行事のお申込方法 ★の行事は2月17日(土)9時より申込受付開始 お電話にてお申し込みください。(☎088-871-1600)

城博講座 (2月)

2月 10日
(土)

歴史講座

「歴史の中の高知城」

第4回 高知城の廃城と公園整備
講師／高木翔太(当館歴史担当学芸員)

会場／当館1階ホール
時間／10:00～11:30
定員／60名 参加費／無料
申込み／不要(当日先着順)

お得な年間観覧券が オススメです

城博の展示は、年間5回の企画展に加えて総合展示室2室も約2ヶ月毎に展示替え。年間観覧券があれば入館もスムーズ。ぜひご利用ください。

年間観覧券／2,000円
※有効期限は購入日から1年間

各種会員制度も ご利用ください

友の会 年間観覧券と様々な特典がついた会員制度です。

年間 3,500円

情報会員

城博ニュースのほか、展示や行事・催し物などのお知らせをご自宅にお送りします。

年間 500円

友の会、情報会員の
詳細はこちら



開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00) ※展示室への入室は閉館30分前まで

休館日 年末 (12月26日～31日) ※展示室の開室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料 ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
◆企画展開催期間中…700円
◆高知城とのセット券 ※有効期限は当日限りです
(当館企画展開催期間中)900円 (その他の期間)740円
◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者(1名)は無料
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料

交通アクセス ◆お車 高知自動車道高知ICから約15分、一般来館者用の駐車場はございません。
高知公園(高知城)駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり
◆JR JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)
はりまや橋下車にて乗り換え、高知城前下車、徒歩2分
◆飛行機 高知龍馬空港から空港連絡バスにてはりまや橋下車、徒歩約20分

高知県立
高知城歴史博物館

〒780-0842 高知市追手筋2-7-5

TEL.088-871-1600

FAX.088-871-1619

高知城博

検索



発行日／令和6年(2024)1月31日 編集・発行／高知県立高知城歴史博物館 印刷／共和印刷株式会社

高知県立 高知城歴史博物館 情報誌

Volume 24 2024 春

城博ニュース

令和6年(2024)三月二日・三日

行事一覧は
裏面をご覧ください。

7th
Anniversary

The
JOHAKU
DAY

高知城歴史博物館
開館7周年記念行事

すべての方が入館無料

平成29年(2017)3月、「はじまる」を合言葉にオープンした城博は、令和6年3月で7周年を迎えます。これからも一層皆さまのお役に立つ博物館となるよう思いを込めて記念行事を開催します。

古文書をはじめとした歴史資料や歴代藩主の御道具など6万7千点の土佐藩・山内家資料を核とした土佐藩・高知県ゆかりの収蔵資料の中から学芸員がオススメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

明治時代(19世紀)
当館蔵

反民権派の建白書



派と称される人々もいました。彼らは、板垣退助らが立志社を設立すると、静儉社を設立し、さらに、立志学会に対抗して、高知城追手門(二階部分)に静儉学会(学校)を開いています。当館には、静儉社員であった高崎睿雄の子孫の家に伝わった資料群が寄贈されています。寄贈資料の内、約二十点が建白書等であり、反民権派の人々がどのような主張をしていたのか知り得る貴重な資料となっています。

例えば、「自由民権運動の勢いに従って国会が開かれれば、徒党を組んだ者たちによって乱れ、天下は瓦解し、神器に涎を垂らす者が現れるかもしれない」・国会が開かれれば政府の政策決定はまとまらなくなり、各党(自由党等)が蜂起してフランス革命のような事態になるは必然の勢いである」と、国会開設に反対しています。彼らは基本的に、幕末からの勤王主義(天皇に忠義を尽くす)であり、西洋化を嫌い、西洋の議会制度を模範とした国会が開かれれば、天皇親政が侵されるかもしれないと考えていました。

また、国会開設以外にも条約改正・地租(税)・軍事・経済問題など、建白書内の批判・言及は多岐にわたっています。様々な主張が詰まったこの建白書群ですが、これまでの自由民権運動研究においては活用されていません。そもそも、反民権派の活動自体があまり研究対象とされてこなかったという経緯があります。

しかし、自由民権運動を再検討するためには、双方の主張、どのような議論があったのかを確認する必要がありますと考えています。反民権派の代表といえる静儉社に関する建白書、春の企画展でその一部を展示しますので、ぜひご覧ください。

資料芸芸課 学芸員 高木翔太

民権議院設立建白書 150年
立志社創立150年
高知は全国に先駆けて、
「自由民権150年」を迎える！
諸君は来館あらんことを乞

自由民権運動のメッカと称される高知では、多くの政治結社(政社)や学習グループ(夜学会など)が勃興。全国一の結社数を誇る高知。様々な政社が、新聞や演説会など言論の力で、自らの主張を展開。

政治熱が高まると、人々は政治や社会のあり方を学ぶために集い、結びつきを強めた。

立志社とは異なる主張をもつ政社。

反民権派と称される彼らもまた、

演説会や学習活動を行い、運動に奔走。

民権派と反民権派、

双方の政社の活動を紹介する企画展。

自由民権運動とは如何なる運動なり哉…

民権議院設立建白書
レプリカを展示！

勤王と民権
反民権派の主張

結社合力！
天下ノ民会ヲ立ンテ
立志社設立趣意書
(明治7年(1874)) 高知市立市民図書館

鈴木讓書状(私立国会は遺憾) (明治13年(1880))10月7日 四万十市郷土博物館

運動の拡大「自由」が流行

徳利「自由勝利」
明治時代(19世紀)
個人蔵/高知市立自由民権記念館保管

展示解説会

3月23日(土) 11:00~12:00
5月19日(日) 11:00~12:00
会場:3階特別展示室
申込不要/要観覧券

関連行事

自由民権150年 記念講演会

自由民権運動のなかの土佐派

松沢 裕作氏(慶應義塾大学経済学部教授)

4月13日(土) 14:00~15:30

会場:当館1階ホール
定員:80名(先着順)

参加費無料

高知の民権結社とその活動

公文 豪氏(歴史研究者)

4月28日(日) 14:00~15:30

会場:当館1階ホール
定員:80名(先着順)

参加費無料

企画展担当学芸員講座

政社の時代〜民権と反民権〜

高木 翔太(当館学芸員)

5月12日(日) 14:00~15:30

会場:当館1階ホール
定員:80名(先着順)

参加費無料

〈申込方法〉電話・FAX・ハガキにて氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

3月5日(火) 9時より受付開始。

総合展示室 展示情報

歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

令和6年度
総合展示室 第1期 3月1日(金)~5月6日(月・祝)

ピックアップ 山内豊範・栄子
肖像画

土佐藩の歴史

幕末・明治の激動の時代を生きた最後の藩主、16代山内豊範。近代日本洋画の父・黒田清輝が描いた大礼服姿の豊範の肖像画を、対となる夫人・栄子(旧米沢藩主上杉齊憲女)の肖像画とあわせて展示します。



総合展示室 第5期 2月16日(金)~4月15日(月)

ピックアップ 山内家のひな人形・ひな道具

大名道具と土佐の文化

公家の装束を忠実に再現した「有職雛」や、土佐藩主山内家伝来の華麗なひな道具を展示します。



南国市国府地区の調査について

活動レポート

新春イベント「博物館に初もうで」 イベント

南国市の国府地区(国分・比江・左右山)は、古代には土佐国府や国分寺が置かれ、中世は長宗我部氏の直轄地、近世は藩主山内氏家老乾氏の知行地で、政治・文化の面で土佐の中心地でした。戦後は農業経営の多角化や高速道路の開通、工業団地の開発など、地域のあり方や風景が急速に変容している地域です。当地の歴史の変遷を再度確認し、後世に伝えていくことは大変重要な我々の使命だと考えられます。



日吉神社の秋祭りみこし渡御の様子

当館では開館以来、江戸時代の村単位で地域を調査研究し、『地域記録集 土佐の村々』という形で刊行してきました。今回はその拡大版ともいえるもので、歴史と民俗、社会経済の分野を中心に調査し、あわせて文化財の記録と保存対策も進めます。今年度から開始し3年程度で報告書としてまとめます。現在と将来の視点を重視して、地域活動の基礎資料となりうる内容をめざします。

調査には、当館をはじめ、高知県歴史民俗資料館、南国市教育委員会、高知大学人文社会科学部が参加し、地元の国府史跡保存会、南国史談会などのご協力を得ております。まさに、地域の歴史文化を総がかりで研究する体制で実施しています。それぞれの担当者が異なる視点でどのような歴史像を浮かび上がらせるのか大変楽しみです。

また、機会をみて、現地で小・中学校の生徒や大学生たちとの合同調査会や中間成果報告会なども開催したいと考えており、その際にはお知らせしたいと考えています。

地域企画課 地域連携担当 黒石哲夫

正月三が日、「博物館に初もうで」を開催しました。県民や帰省客向けに、お正月らしい企画を行う毎年恒例の催しで、3日間で延べ2,500人の方に来場いただきました。

今回の催しでは、今年の干支「辰」関連の資料や国宝・重文の特別公開をはじめとしたおめでたい資料の展示と、武士の装い体験・書き初め体験等の正月特設コーナーの実施に加え、いくつかの取り組みを地域団体との連携のもと行いました。

企画の一つ「新春ステージ」では、居合道・抜刀道の演武、獅子舞の演舞、書道パフォーマンスを行い、文化・保存団体や住民グループ、小中高校生等、多種多様な方に出演いただきました。また、「土佐風づくり体験」の講師は野市町土佐風保存同好会に、「オリジナル絵馬づくり」の絵馬台製作は高知工業高校建築科に、「鯉一本釣り体験」の道具提供は高知かつお漁業協同組合に、それぞれ協力いただきました。その他、県産品を使ったメニューを販売するキッチンカーの出店も行いました。

県内の文化・教育・産業等に関わる約50人の方の協力により、大勢のお客様に日本のお正月や高知の歴史文化を感じていただけたと思います。地域の皆さんと交流を深め、連携しながら博物館活動に取り組むことの大切さを改めて感じた新春イベントとなりました。

城博が今まで以上に多くの方に親しまれる存在となるよう、本年も努めてまいります。



広報・地域連携担当 企画員 筒井聡史